

日本甜菜製糖

「ひっぱりくん」好調

チェーンポット新規格も

日本甜菜製糖・紙筒事業部営業第二課東京営業所(東京都港区三田3-12-14)は、甜菜の移植用に使われるペーパーポットを数珠状につなげた「チェーンポット(CP)」(株間5cm)の普及拡大を図っている。一定の株間で定植でき植え付け作業の省力化につながるため、ネギ類を中心に利用が広がっている。

さらに、チェーンポットの株間を伸ばしてほしいという要望に応じて開発した株間の長いロングピッチチェーンポット(LP)は15cmタイプLP303-15、10cmタイプLP303-10を加えた。また、新規格の30cmタイプLP353-30を現在鋭意開発中

である。キャベツ・ブロッコリー・カリフラワーなどの定植に適している。なお、CP・LPの定植が楽に出来るように開発したのが専用の簡易移植器「ひっぱりくん」だ。

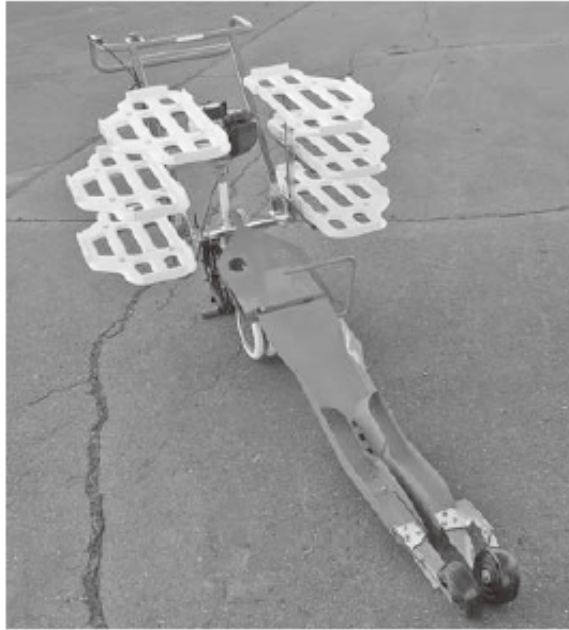
様々な畦形状に対応可能な各種のバリエーションを備えており、小型・軽量で女性にも使いやすい人気商品となっている。現在、ひっぱりくんは、「HP-16」(1条)と2条同時に植え付けできる「HP-7V」(2条)をラインナップとして取り揃えている。

新規格のLP30cmタイプに適合する「ひっぱりくんHP-16」には、専用のLPアタッチメントが必要となる。「新規格30cmタイプLP353-30と専用LPアタッチメ

一方、「引っ張るのが大変」「苗運びが大変」「定植後の苗箱回収が大変」といった耕作者から高い支持を獲得しているのが、ひっぱりくんを4ストロークエンジン駆動で牽引する動力ユニットだ。現在、前後選択式の「ひっぱりくん動力ユニットHPD-2G」に続き、後進専用機「同HPD-3G」を昨年4月1日に新発売した。販売開始後、各地で高評を得ている。

さらに、同社がネギ定植の新提案として、今春発売予定なのが「ひっぱりくんトラクタ直装ユニットTDK-KO」だ。

トラクタのロータリーアタッチメントなど角パイプに取付け、HP-16を2台接続して使用する。ネギ溝整形機を取り付けることで、溝切と移植作業を2条同時に行える。移植開始から回行までノンストップで作業ができるため大規模ネギ生産者にメリットがある。



動力ユニットHPD-3G

さらに、同社がネギ定植の新提案として、今春発売予定なのが「ひっぱりくんトラクタ直装ユニットTDK-KO」だ。トラクタのロータリーアタッチメントなど角パイプに取付け、HP-16を2台接続して使用する。ネギ溝整形機を取り付けることで、溝切と移植作業を2条同時に行える。移植開始から回行までノンストップで作業ができるため大規模ネギ生産者にメリットがある。